

# 放課後ニュース（まなび・学童）特別号

放課後まなびニュース 令和8年1月号 NO. 32

京都市では、放課後の子どもたちの居場所づくりや、健やかに育まれる環境を推進するため、「放課後まなび教室」と「学童クラブ事業」を実施しています。

## 「放課後まなび教室」とは

- ・全ての小学生に、「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する事業

## 「学童クラブ事業」とは

- ・就労などで放課後に保護者がいない家庭の小学生を安全に保護し、健やかに育成する事業

## 子どもたちが過ごしやすい放課後を作るために



全ての子どもたちにとって、安心・安全で、多様な居場所を提供する「こどもまんなか」な放課後を実現するため、京都市では、令和4年度から、学校・学童クラブ・放課後まなび教室の関係者が集まり意見交換を行い、連携を深める「放課後子どもミーティング」を実施しています。



### <令和6年度>放課後子どもミーティング実施校

京極小学校区

音羽小学校区

日野小学校区

広沢小学校区

太秦小学校区

錦林小学校区

向島藤の木小学校区

## 連携の意義・目的

子どもたちの放課後に関わる関係者がより一層相互理解を深め、顔の見える関係性を構築することで、子どもたちにとって安心・安全な放課後づくりに取り組むことです。

## ミーティング参加者の声

- ・両事業のスタッフが顔見知りになることができ、連絡・相談しやすい関係を構築することができて良かったです。
- ・放課後ミーティングで児童の所在確認方法を再確認したことで、今まで以上に両事業の連携が強くなったと思います。
- ・放課後まなび教室のスタッフが児童館の事業に参加することになるなど、放課後ミーティングを機に新たな繋がりが生まれました。この繋がりを大切にして、今後も活動していきたいです。



# 放課後子どもミーティング実施校に取材に行きました！

放課後子どもミーティングの実施例をご紹介します。



## 日野小学校区

日野小学校放課後まなび教室・春日野児童館・春日野はぐくみ学童クラブでは、令和6年6月24日に放課後子どもミーティングを実施しました。ミーティングでは、互いの事業を紹介し、情報交換を行うことでスタッフ同士が顔見知りの関係を構築し、ミーティングに参加した放課後まなび教室のスタッフが春日野児童館や春日野はぐくみ学童クラブが実施する事業に参加するなど、新たな繋がりが生まれました。また、令和7年6月4日に実施したミーティングでは、学校から共有された校庭開放時間とともに、児童の所在確認の連絡体制を再確認するとともに、新たに学校を通じて学校だよりや互いの事業のイベントチラシを共有する連絡体制が構築されました。

## 音羽小学校区

音羽小学校放課後まなび教室と音羽児童館では、令和6年5月21日に放課後子どもミーティングを実施しました。ミーティングでは、主に放課後まなび教室と学童クラブを同時利用する児童の所在確認の現状及び課題について確認するとともに、児童の様子について情報共有を行いました。放課後まなび教室の後、学童へ向かう時間が遅れる場合は、両事業のスタッフ同士が事前に連絡を取り合うようになり、ミーティングで顔見知りになったことで、連絡が取りやすくなりました。

また、ミーティングを機に、年度当初にスタッフ同士で両事業を同時利用する児童の名簿を確認するようになり、学校の協力を得ながら児童の所在確認方法の見直しを行うことができました。

## 広沢小学校区

広沢小学校放課後まなび教室と嵯峨広沢児童館では、令和6年6月26日に放課後子どもミーティングを実施しました。ミーティングでは互いの事業のルール等を確認し、主に放課後まなび教室と学童クラブを同時利用する児童の所在確認の現状を確認しました。ミーティングに参加した放課後まなび教室のスタッフからは「これまでから学童クラブ内のルールを知りたかったので、ミーティングは良い機会だった。」と感想をいただきました。

また、ミーティングを機に、学校を介して両事業を利用している児童の名簿をスタッフへ共有いただくことになりました。

## 太秦小学校区

太秦小学校放課後まなび教室と太秦児童館では、令和6年7月5日に放課後子どもミーティングを実施しました。ミーティングでは主に放課後まなび教室と学童クラブを同時利用する児童を把握する方法について確認し、年度当初に学校を介して両事業を利用している児童の名簿をスタッフへ共有いただくとともに両事業間で適宜名簿の更新状況を確認することになりました。

また、日々の児童の出欠状況の確認についても連絡を取り合うなど、迅速に情報共有をし合える関係性を構築することができました。

